

口 腔 外 科 学

1 担当教員名

【 研究指導教授 】 教授 古 川 洋 志 (代理)

【 科目担当者 】

2 教育目標

(1) ねらい

歯科疾患の一般的診断手順および治療方法の選択は、すでに歯科臨床研修の場である程度習得できていると考えられる。

大学院に於いては、学生が、医科大学病院の歯科口腔外科で主に取り扱う顎顔面口腔疾患の診断に必要な情報収集と分析および得られた情報から選択出来る治療法と個々に行う治療法の選択について理解を深めることを目標とする。

(2) 学修の到達目標

- ① 口腔疾患の治療法を説明できる。
- ② 治療手技を理解し、手術に参加できる。
- ③ 治療後の患者の状態を説明できる。

3 授業内容

【 講 義 】	口腔外科領域における各種病態と最近の診断，治療の進歩とそれに伴う諸問題について講述する。
【 演 習 】	口腔外科疾患の診断治療に携わると共に，口腔外科領域全般にわたる内外の文献の抄読，症例検討を行う。
【 実験研究 】	口腔外科領域の疾患の病態学的研究，腫瘍に対する新たな診断および治療法の基礎研究。顎関節を中心とした咀嚼機能の加齢変化について基礎的研究。顎顔面外傷の診断，治療法。睡眠時無呼吸症候群の診断，治療法および治療効果について臨床研究を行う。

4 成績評価の方法・基準

講義に於いては、課題に対するレポートにて理解度を評価する。また臨床に於いては症例検討の中で評価する。

基礎、臨床研究は論文を通して評価を行う。

5 教科書・参考図書

特に定めないが、医局図書を参照。

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

事前にテキストの項目などに目を通しておく。1週間に7時間程度の予習・復習が望ましい。

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

口腔外科領域の論文作成を通して, 高度な専門知識と論理的思考を伴う研究力・実践力を修得する。

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

5段階評価を行い, 評価後返却する。

ただし, 内容の不足や誤りがある場合は, 再提出を求める事がある。

9 履修上の留意点

基礎研究, 臨床研究については実験研究の項にあげた領域の一領域について深く研究を行う。

臨床の科目である点を重視した研究に心がける。

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先